

新鳥取県立中央病院のご紹介



1. 新病院は高度・急性期医療で地域に貢献

高度・急性期医療を担う鳥取県立中央病院の建替えが完成します。12月16日(日)に病棟がオープンし、翌17日(月)に外来診療を開始します。

新病院では、急性心筋梗塞や脳卒中、周産期母子医療、災害医療など他の医療機関では対応が困難な分野を強化します。緊急手術や急性期リハビリにも対応し、救命救急医療を行う基幹病院の機能を果たします。

また、地域がん診療連携拠点病院として新たに「がんセンター」を設置し、高難度ながん治療も展開していきます。専門的な医療の提供はもちろん、がん診療の地域連携、患者・住民への相談支援や情報提供を実施するため体制を強化するとともに、最新機器の導入を行うことで県民のがん死亡率改善に貢献します。

さらに、他の病院との間で医師の相互派遣や疾患別の役割分担、医療従事者の育成などにも積極的に取り組み、地域における人材育成医療の質の向上を目指します。

開院後も既存建物の撤去や外構の整備工事などは続き、2年後には駐車場が約500台に拡張されます。

2. 新病院の概要

- 名 称: 鳥取県立中央病院

<https://www.pref.tottori.lg.jp/chuoubyouin/>

- 所在地: 鳥取市江津730番地
- 電 話: **0857-26-2271**(代表)
- ファクシミリ: **0857-29-3227**
- 階 数: 地上11階
- 構 造: 鉄骨鉄筋コンクリート、鉄骨造(免震構造)
- 病床数: 518床(一般: 504床、結核: 10床、感染症: 4床)
- 駐車場: 430台(2年後には約500台)
- 入 館: 来院者はこれまで同様、東側正面入り口から。
救急車、サービス車両は西側出入り口から。

3. 新病院を写真でご紹介

(1) 1階エントランス・受付



表玄関(入口)

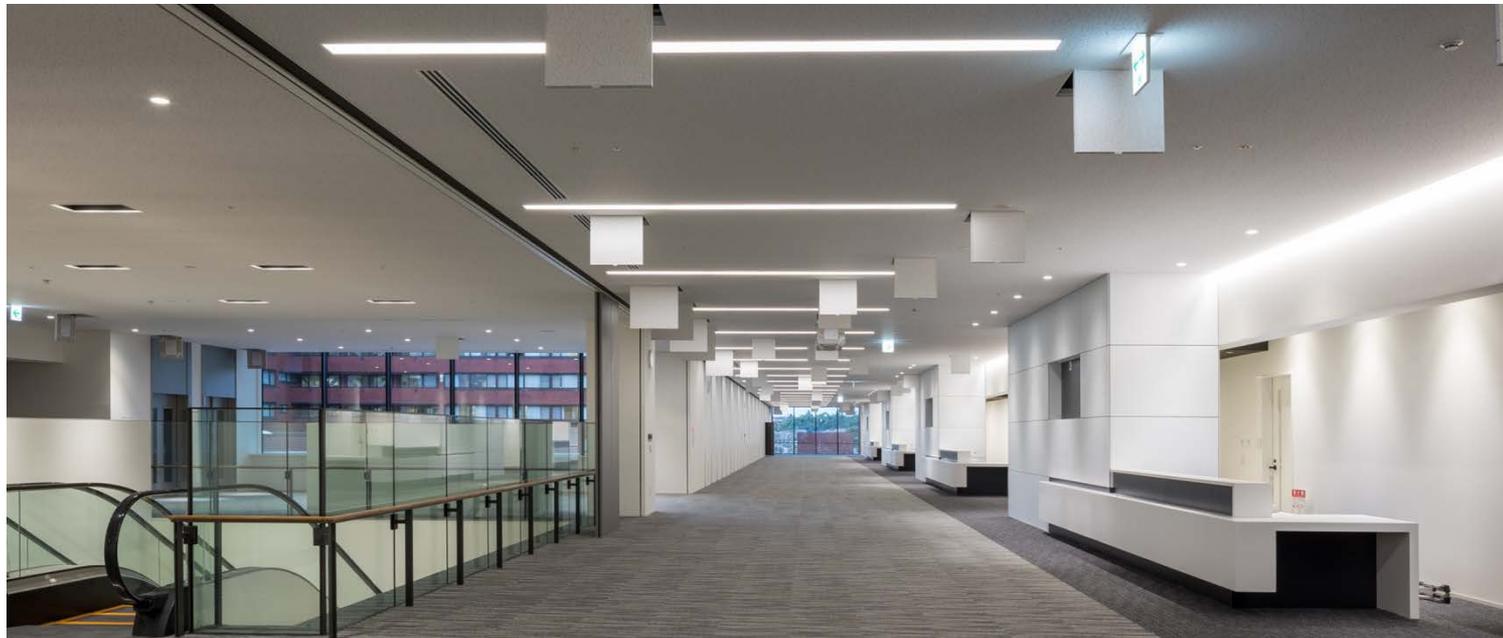


受付・玄関ホール

(2)2・3階外来



新病院の2階
救急外来、患者支援センター前



新病院の3階外来
受付カウンター

(3) 病棟スタッフステーション



(4)PET - CT(がん診断)



小さな腫瘍も発見できるPET - CTで診断能力向上

(5)IMRT(がん治療)



正常組織の照射線量を抑えつつ腫瘍部分に放射線を集中して照射できるIMRT

(3) 病棟スタッフステーション



救急専用エレベーターで屋上ヘリポート～2F・救命救急センターを直結

(7)病棟・4床室



作り付けのロッカーを設けることによってプライバシーを確保した4床室